

林材業における労働災害の現状と課題

現状

- ◇林業は11次防で労働災害多発業種に指定
- ◇林業は前5カ年計画で目標値を達成できず（死亡・死傷）
- ◇木材製造業は目標を達成
- ◇林業における振動障害新規認定者は着実に減少

課題

- ◇リスクアセスメントの普及定着
- ◇死亡災害等重篤な災害防止
- ◇就業者の高齢化、新規雇用による未熟練者の増加に対応した災害防止
- ◇高性能林業機械等大型林業機械の現場導入に対応した災害防止
- ◇生産設備の高能率化・自動ライン化の採用に対応した災害防止
- ◇木材製造業への国産材供給体制の強化による入荷量の増大と取扱単位の大型化に対応した災害防止
- ◇定期健康診断の実施と事後処置の徹底及び振動障害の予防

課題に対する取組の基本

- 労働安全衛生関係法令に規定された安全対策の履行
- 林業・木材製造業労働災害防止規程の遵守
- 自主的安全衛生活動の計画的かつ積極的な展開
- リスクアセスメントを活用した職場内リスクの確実な低減
- 安全衛生活動への積極的な参画

前計画の実績と本計画の目標

	前計画（平成15～19年）		本計画（平成20～24年）
	目標	実績	目標
死亡災害	60人を大きく下回る (林業45人以下、木材15人以下)	58人 (平成19年:林業50人、木材8人)	平成24年において48人を下回る (林業40人以下、木材8人以下)
死傷災害	総件数 27,126人 林業 11,152人 木材 15,974人 (前々計画期内の総件数 33,907人に対し20%減)	総件数 24,301人 林業 11,187人(19.7%減) 木材 13,114人(34.3%減)	総件数 3,736人 林業 1,768人 木材 1,968人 (平成24年において 対19年比で15%以上減)

※死傷災害の前計画(平成15～19年)は5年間の合計値、本計画は平成24年単年の値である。